

# 秋 えほん だより

R4.10月発刊

コロナの感染者が増え、市からも家庭保育の  
お願いをしたことから、絵本の貸し出しも中止に  
しておりましたが、9月から再開することが  
できました。中止の間も週末になると子どもたちから  
「えほん借りまだない？」ときかれることもしばしば...  
や、との再開で子どもたちが嬉しそうに絵本コーナーで  
選んでいる姿に、こちらもとて素晴らしい気持ちに  
なりました。



あきのおすすめえほん

えんそくシリーズ



おいもシリーズ



あたらしいえほんの紹介



絵本の研修で  
おすすめされた3冊です。

★『BLUENO』は、SEKAINO OWARI  
というバンドのFukaseさん作画で  
前から後ろからで物語がかわる  
絵本ですよ。



他にも...

- ・おおきなかばがあたはさ
- ・ウッソス やきそば
- ・アリオはおとどけやさん
- ・あなふさぎのジグモンタ
- ・ロスコーさんともちに  
あいにいく
- ・めがねがね  
(全て、ひさかたチャイルド社)
- ・まっ、いっか!! (えほんの社)
- ・おぼけマンション  
(ポプラ社)

紙芝居



たつたしの  
名作ぞういぞう。



たべものシリーズ

絵本を読んでもらうことは、子どもにとって楽しい時間だ  
あると同時に、親と子の気持ちが自然とよきよきになることが  
できる時間でもあります。その体験は、子どもだけでなく、  
親にとっても楽しく、親としての気持ちが満足させられる  
時間だと思えます。子どもの成長はあ、という間です。  
「絵本読んで！」とせがまれる時間も残念ながらそう長く  
続くものではありません。「めんどくさいな」...そんな風に  
思っていた10分は、子どもが大きくなって振り返ると、  
かけがえのない宝物のような時間です。  
そして、その時間は、子どもだけでなく、親にとっても  
親子の絆の思い出としていつまでも残りますよ!!

ぶどう・めづんぐみさんからの  
リクエストです!!

